種名	ケ　　リ Microsarcops cinereus
分類	チドリ目チドリ科
特徴	飛ぶと黒と白の翼の模様が目立つ、脚の長い大形のチドリ類。本州に分布するが、繁殖地は局地的で東海から近畿地方に多く棲息するほか、北陸、北関東、東北地方にも点々と繁殖地が知られている。戦前は東北から北関東にかけての地方だけに繁殖していたようで、分布の変化が著しい鳥である。積雪の多い地方のものは、冬は暖地に移動する。
生活	草原、広い川原、水田、畑などに棲息し、地上で昆虫やカエルなどの主に動物質の餌をとる。繁殖期にはつがいで縄張りを持ち、地上を浅く掘り凹めて巣を作る。非常に警戒心が強く、人やワシタカ類などが巣に近づくと、激しく鳴きながら上空を飛び回り、急降下の攻撃を繰り返して追い払う。この時、近くで繁殖している他のつがいも集まってきて、集団で攻撃を行う。
声	繁殖地で巣の近くに行くと、「キキチ、キキリ」あるいは「キリリリ」という警戒の声を出し、近くにいるケリも飛んできて盛んに鳴き交わす。繁殖期には地上でも飛翔中にもよく鳴くが、秋冬期にはあまり鳴かない。
見分け方	大きさや色彩で見誤ることはない。地上にいると地味な羽色だが、飛ぶと次列風切と腰から尾の白色部が目立つ。脚は黄色く長い。
時期：寒地	(月)　－　－　3　4　5　6　7　8　9　10　－　－
：暖地	(月)　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12
その他	全長 (L) 36cm　翼開長 (W) 75cm

参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥